



柏の葉だより

＜学校教育目標＞

学ぶ楽しさを知り
生きる喜びが分かる
心身ともにたくましい生徒の育成

学校だより 2025 第4号

5月17日発行
市川市立第五中学校
校長 岡 良和

☆スマホで見やすいレイアウトに変更しました☆

第1回学校運営協議会報告

地域関係者・PTA代表・学校代表・市教委により、学校運営について協議した内容を報告します。（5月12日開催）

＜議事＞

教職員の任用について

【報告】本協議会から市教育委員会に提出した「教職員の任用に関する意見書」にある4項目のうち、3項目について、妥当な人事異動が行われました。（3項目：①GIGAスクール構想の浸透について専門知識および実践経験を備える ②特別支援教育に関する高い見識と豊富な経験を備え、指導力に優れる ③部活動を意欲的に指導し、魅力溢れるものとする手腕を有する）

学校経営方針について

【報告：昨年度末承認「経営方針」から】

『目指す学校像』

- （1）豊かな体験と学びにより、感動と笑顔があふれる学校
- （2）誰もが幸せを感じ、ともに学び支え合う学校
- （3）生徒・教職員・家庭・地域が信頼の絆で結ばれる『チーム五中』

『スローガン』

- ～ 子ども達の笑顔を増やす ～
- ～ 五中ブランド力の向上 ～

『具体的方策と取組』（優先度：高・○ 中・○）

- （1）確かな学力：教育課程の工夫改善および教員の授業力向上 ○『主体的・対話的で深い学び』・『探究的な学び』の推進 ○GIGAスクール：ICTの活用推進 ○特別活動・総合的な学習の時間指導計画の工夫（モジュール） ○特別支援教育の充実 ○キャリア教育の計画的実践 ○生徒による授業アンケート活用
- （2）豊かな心：主体的な生徒活動による自己肯定感の向上：思いやりと命を大切にする心の育成 ○特別活動・部活動を核とした生徒活動の充実 ○多様性社会に即した生徒指導の実践 ○悩み・不登校・いじめ・虐待等の早期発見と解消を図る機動的な教育相談体制の推進 ○読書活動の推進 ○考え議論する道徳の実践 OSNSのルール・マナー教育の浸透
- （3）健やかな体：健康的で規則正しい生活習慣の育成 ○五中ヘルシースクールプランの工夫・改善 ○安全な環境整備と安全意識の向上 ○生涯に渡る運動習慣の育成 ○感染症拡大予防行動の習慣化
- （4）学校・家庭・地域連携と協働の推進：五中ブランド力の強化 ○積極的情報発信と学校・家庭・

地域のネットワーク強化 ○地域と連携した防犯活動の推進 ○コミュニティ・スクールの充実 ○災害に強い学校・地域づくり ○地域ボランティア活動の推進 ○小学校・幼稚園との連携強化

（5）教職員の働き方改革：業務のスリム化と効率化の向上：職場のモラールアップ強化 ○スクラップ&ビルトの徹底 ○福利・厚生企画の充実 ○デジタル化による業務軽減 ○部活動地域展開の推進（国・県・市の施策に沿って進行）

【意見等】 ■この三月の卒業式は、近年の中でも格別に温かい雰囲気の素敵なものでした。スローガン「子ども達の笑顔を増やす」が、浸透・実現した成果を感じました。 ■生徒集会では、校歌を笑顔で合唱する生徒が多く感激しました。

地域と連携した防犯活動について

【説明】五中は学区が広く、冬季最終下校時間帯など「暗い道を帰る子供たちの不審者被害が心配」という声が、保護者等から寄せられるとともに教職員も心配しています。そのため、スマホ所持が必要な家庭が申請し、登下校緊急時の通報などに使えるようにしています。また、昨今の社会情勢により、教職員の勤務時間外パトロールを日常化することは、難しくなっており、今後は、行政機関と地域住民の方々との連携・協力のもと、持続可能な地域防犯活動および安全性向上の方策を探りたいと考えています。

【情報交換等】 ■本協議会から、学区危険個所の安全性向上策を教育委員会など行政機関に働きかける方法がある。 ■自治

会と連携して防犯カメラ・防犯灯の設置を働きかけてはどうか。 ■不審者や猿の目撃情報などは、市少年センターを介して市内小中学校で共有するシステムがあり、学区近隣で発生したときは、安全指導のうえ、臨時パトロールを行うことがある。

■大町地区は、最近開発が進み、道路の見通しなど、改善が進んでいる。 ■狭い歩道を歩く子供たちが、歩道からはみ出るなど、車を運転するドライバーから見ると危険を感じことがある。 ■柏井小では、地域ボランティアが、週1回程度、学校の公用車でパトロールを行っている。

五中ブログ「いいね！」 カウントアップでつながろう

五中ホームページのトップに『五中ブログ』を開設し、学校の日常やお役立ち情報、大会速報等をアップしています。

各記事の『いいね！』ボタンを押してカウントを増やす一瞬には、『共感・支持・応援』の気持ちで学校・家庭・地域がつながり、子供たちの承認欲求が満たされ、自己肯定感が高まる効果を期待しています。

『いいね！』カウントアップをお願いします。

